

<金融危機はどうして起きたの?>

2001年以降、米国では金融緩和(低金利政策)が行われる

2003年後半から2005年にかけて住宅ブーム。住宅価格の上昇によりサブプライムローンの利用が急上昇

2006年には住宅価格の上昇率が鈍化、サブプライムローンの返済延滞が急増

サブプライムローンの貸し手であるローン会社に対する融資に金融機関が慎重になり、ローン会社が経営破たんする例が出始める

サブプライムローン関連に投資する金融商品の価格が急落
◆これに投資をしていた欧米の金融機関、ヘッジファンドが多額の損失を被る

2008年9月、米国第4位の大手証券会社リーマン・ブラザーズの破たん

世界的な金融危機へと発展
世界中で株価の暴落が起こる

サブプライムローン関連の損失は他の先進主要国と比較すると傷が浅いとみられていた
しかし...

2008年9月のリーマンショック以降の金融不安による株価急落により状況は一変
日本の株式相場においても、2008年9月～2009年2月の6カ月間で200兆円超の時価総額が失われた。

いろいろな所に影響が...

金融機関にとっては...
保有株式の含み損を抱える
⇒自己資本比率など経営への影響が大きくなり、企業への貸出しに大きく影響するおそれもある

企業にとっては...
銀行からの借入が難しくなる
海外への輸出が減少する(売上の低下)
⇒企業の経営悪化、倒産の増加も

家計にとっては...
給料カットなどにより消費を控えるようになる
⇒世の中で使われるお金の量が減る
⇒失業のおそれもある

金融危機の影響は
『日本でも相当深刻なもの』
となった。

<ギリシャの財政危機はどうして起きたの?>

従来、2009年のギリシャの財政赤字見通しは3.7%と発表されていた

2009年10月、ギリシャにおいて政権交代が行われる

前政権にて財政赤字をごまかしていたことが判明!

実際には2009年の財政赤字見通しは国内総生産(GDP)の12.7%になることが分かる

2010年1月に欧州委員会がギリシャの統計上の不備を指摘し、ギリシャの財政状況の悪化が表面化

格付け会社は一斉にギリシャ国債の格付けを引き下げ、国債暴落

世界各国の株価が下落
ユーロは他通貨に対して下落